

# 嚥下訓練中の 筋活動を可視化し その特徴を知ろう

2024  
**10/20** (日)  
13:00~15:30  
オンライン開催

講師 **柴本 勇** 先生 (聖隷クリストファー大学)

摂食嚥下は反射活動と随意運動とが共存する複雑な神経機構の上に成り立っています。また、ダイナミックな運動と微細な運動とがうまく時間的に共存して運動が実行されます。このような背景から、嚥下訓練や摂食嚥下リハビリテーションでは口腔顔面を中心に運動に対するアプローチが行われ、多くの手技やアプローチが開発されています。今回の技術セミナーではこの点に焦点を当て、適正なアプローチ法を選定し実施できるように、異なるアプローチ法での筋活動を可視化し、それぞれの特徴を知ることには挑戦したいと思います。

## 基礎訓練

シャキア法、嚥下おでこ体操、舌挙上、CTAR、頬膨らませ、呼吸筋トレーニングで舌骨上筋群の筋活動に違いがあるのでしょうか？もしも違いがあるのならどのような違いでしょうか？これらを可視化して、臨床での適性や求める効果などをお伝えしたいと思います。

## 摂食訓練

例えば粒が入っているミキサー食と粒がないミキサー食では筋活動にどのような違いがあるのでしょうか？さらには、頸部回旋、頬づえ嚥下法、完全側臥位法などの姿勢の違いで、頭頸部筋の筋活動に特徴があるのでしょうか？

これらを知り翌日からの臨床で科学的視点や筋活動を理解した訓練の提供ができるよう特徴を理解しましょう。筋活動の可視化には、Noraxon 社製表面筋電計を用います。さまざまなアプローチ法や物性、姿勢を試し可視化します。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

対象 言語聴覚士 ほか

定員 100 名

申込方法 当研究会ホームページまたは右記の QR コードからお申し込みください。

参加費 当研究会会員：無料 会員外：3,000 円

※会員として参加される場合、10/16 (水) までに入会手続きをお済ませください。

申込締切 2024 年 10 月 18 日 (金) 定員になり次第締め切ります。

